

題材名：

遊びプランナーになろう！

(全3時間扱い中 第1時)

授業日時 2019年8月27日(火) 第4校時

授業学級 3年A組

授業会場 家庭科室

授業者

指導者

(1) ねらい

幼児の遊びの意義と遊び場所について理解することができる。

(2) 授業のポイント

- ・保育園実習に行き、実際に体験してきた子どもたちが、どうして幼児はたくさん遊ぶのかについて考える。
- ・自分の経験した遊びを分析する。

(3) 展開

過程	学習活動	○授業者の主発問・◇留意点・★教材	時間
導入	1. 子どもにとって遊びとは何かを問う。	○保育園での実習でどんなことをしてきましたか。 ◇保育園実習で何をしたかを問い、「遊び」を引き出す。 ◇生活時間の帯グラフから遊びの時間が長いことに気付けるようにする。★ICT	5
	【学習問題】 どうして遊びの時間がたくさんあるのだろうか。		
	2. どうして遊びの時間が長いのか検討する。	○なぜ遊びの時間が長いのでしょうか。 ◇遊びに何か意味があるのではないかという生徒の予想から学習問題を設定する。	5
【学習課題】 自分の経験した遊びを分析し、幼児の遊びの意義を見つけよう。			
展開	3. 幼児の遊びについて分析を行う。	○項目にそって遊びを分析しよう。★遊び分析カード ◇項目にそって分析を行う。	10
	4. クラス全体で遊びの目的を検討する。	○遊び分析カードを発表し、意義を見つけよう。 ◇黒板には場所とどんな力をつけたいかを板書する。 ◇4つの発達(身体的・運動機能、社会性、言葉、情緒)にそって、下線を色分けし、どのような共通点があるか考える。 ◇遊びに関わる場所には、安全性と幼児の発達の2つの側面があることを伝える。	20
【評価】 幼児の遊びの意義と遊び場所について理解することができる。			5
終末	5. 本時の振り返りを行う。	○振り返ってわかったこと、気を付けたいことを書きましよう。	5

(4)板書計画

<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px 5px;">生活時間の帯グラフ</div>	<p><鬼ごっこ> 場所：外 力：走る力 ルールを守る…</p>	<p><〇〇> 場所：・・・ 力：・・・</p>
<p>学習問題 ~~~~~ ・〇〇〇〇 ・〇〇〇〇</p>	<p><ボール遊び> 場所：・・・ 力：・・・</p>	<p><〇〇> 場所：・・・ 力：・・・</p>
<p>学習課題 ~~~~~</p>	<p>振り返り ~~~~~ ~~~~~</p>	

(5)発問計画

<p>導入</p>	<p>保育園実習ではどんなことをしてきたか振り返ろう。 (生徒からの発言) 遊びの時間があったね。おやつを食べる時間もあったね。</p> <p>そこで先生は保育園での一日の様子を帯グラフにしてみました。 *生活時間の帯グラフを提示 このようなグラフを生活時間というけど、何か気づくことはないかな。 (生徒からの発言) 遊びの時間が長いね。なぜだろう。 ... ではこれを学習問題にして考えてみよう。 *学習問題を提示</p> <p>改めて考えてみよう。予測してみよう。 (生徒からの発言) 遊びにはたくさんの種類がありそうだ。遊びは仕事っていうね。 ってことは遊びの“内容”に何か意味(意義)がありそうだね。 では遊びの意味(意義)を見つけるために遊びを分析して遊びの意味をみつけてみようか。 *学習課題を提示</p>
<p>展開</p>	<p>ワークシートをみてください。 遊び分析カードというものが書いてあります。 そしてそこにはいくつか項目が書いてあると思うけど、ちょっとわかりにくいと思うので先生が例を作ってきました。 *例を提示しながら説明</p> <p>それでは遊びを分析してみよう。</p>

	<p>それでは遊びが分析できたと思うので、 何人かに発表してもらいたいと思います。 (生徒からの発言)</p> <p>他に同じ遊びでもつきたい力に違うことを書いた人はいるかな。 そうだね、そういう意味もありそうだ。</p> <p>こんな風に一つの遊びからたくさんの力が得られそうだね。 先生はいま、つきたい力を色別に分けたんだけど、なにか共通点はないかな。 ...</p> <p>走ったり投げたりする力→身体的・運動機能の発達 (身体の発達) ルールを決める・守る、対人→社会性の発達 (コミュニケーション能力の発達) 話す、聞く、読む→言葉の発達 感性が豊かになる、喜怒哀楽→情緒の発達 (心の発達)</p> <p>こんなことから遊びってどんな意義がありそうかな。 (生徒からの発問) そうだね、遊びは発達を助ける必要な役割があるんだね。</p> <p>ところで、遊びの意義についてはわかったと思うけど、 ここで遊び分析カードの場所の部分に注目してほしい。</p> <p>一緒に教科書の p 195 を開いてください。 (生徒に読んでもらう)</p> <p>ただ遊ぶ内容だけ考えればいいのではなくて、 幼児にあった場所を選んだり、整備したりしないと遊びの効果は十分に 発揮されないんだ。</p>
終末	<p>それでは、ここまで学んできたことを振り返ってみましょう。</p> <p>それでは何人かに発表してもらいたいと思います。 (生徒からの発言) みんなたくさんことに気付けたね。 また朝陽学園に行くときや身近な幼児と関わるときに、 この遊びはどんな発達に関わっているのか考えていけるといいね。 ワークシートは一度回収します。</p>

(6)反省

帯グラフは、幼児の生活の主要な部分である、睡眠・食事・遊びの観点に生徒たちが気づきやすい資料として有効だと思った。どうして遊びの時間が長いのかを学習問題として設定したことで、生徒から「子どもは遊ぶことが勉強ではないか。」という予想を引き出し、それを確かめるために展開へとつなげられた部分は良かった。学習課題として遊びを分析するという手法を用いたが、遊びを分析することで、幼児の遊びの意味が分かりそうだという見解を生徒があまり納得いかないまま進んでしまったため、そこで生徒の集中力が途切れたように感じた。学習問題を据えた後の展開として、なにか一つ例のように取り上げ、分析することをしてみて、分析することが有効な手段であることを生徒たちにしっかりと認識できるように指導ができていたらよかったと思う。展開部分の活動では生徒が分析して、出てきた言葉を最優先に板書し、最後のまとめで色別にアンダーラインを引いたことで、生徒の理解はしやすかったと思う。ただ、生徒の言葉を発達の種類で分けようとしてしまったあまりに、集中力など分類がしにくいものを生徒と考えながら変更してしまい、混乱させてしまったのではないかとおもう。無理やり分けるのではなく、分ける時も子どもたちの言葉でもっと広い分け方（心の発達、体の発達、コミュニケーションなど）で分けてもよかったと思う。終末で生徒がまとめを行うようにしたかったが、上手くできず、先生側がまとめてしまった。先生はまとめで今日の授業で行ったことを振り返り、それを踏まえて生徒がまとめを各自で行い、そのまとめたものを教師が全体で共有するという流れを徹底してできるようにしたいと思う。